

魅力と期待の集まる新本部整備 —新本部における基盤技術支援の高電圧試験をご紹介します—

これまでのシリーズ新拠点「魅力ある拠点整備に向けた取り組み」に引き続き、4月号からは、平成23年度開設予定の新本部整備進捗状況や強化する支援事業などについて、全12回のシリーズで掲載します。

新本部建設工事の進捗状況

平成23年度開設に向け、臨海副都心青海地区で着々と建設が進み、現在、柱、梁の鉄骨工事が5階の最上部まで完了しています(図1)。



図1 新本部建設工事の現場状況
(全景H22.2.23撮影)

鉄筋コンクリート工事は、1～3階までの床がほぼ完了し、2階から順次、柱、梁及び壁を施工していきます。

地下ピット階・1階の状況

図2の地下ピット階の配管トレンチ部は、周長約230m、幅約5m、高さ約3mありますが、今後、設備および電気の配管、配線で一杯になります。図3のエントランスホールの吹抜け部は、高さ10.5mの大きな空間となります。



図2 地下ピット階



図3 エントランス廻り

(近景H22.2.24撮影)

新本部における基盤技術支援

技術相談、依頼試験、機器利用による中小企業の技術力強化支援を行っていますが、新本部では、高電圧機器、照明機器、音響機器、透視観測装置等の利用の多い機器をより一層充実させ、中小企業の新需要や新規格に対応します。

新本部に設置される高電圧実験室には、500kV交流高電圧発生装置(図4)、1,600kV雷インパルス電圧発生装置(図5)、100kA雷インパルス電流発生装置(図6)が設置されます。

交流高電圧発生装置、雷インパルス電圧発生装置は現有装置と性能的に変わりませんが、コンピュータ制御の導入により試験精度が向上します。雷インパルス電流発生装置はIEC(国際電気標準)規格に対応し、10/350 μ sの電流波形を発生することができ、公的機関唯一の装置として避雷器等の試験が可能になります。



図4 交流高電圧発生装置(イメージ)



図5 雷インパルス電圧発生装置(イメージ)



図6 雷インパルス電流発生装置(イメージ)

新本部に関してご質問のある方は、下記にご連絡下さい。

経営企画本部 新拠点準備室 <西が丘本部>
山本克美 TEL 03-3909-2176
E-mail : yamamoto.katsumi@iri-tokyo.jp

平成23年度 臨海副都心青海に新本部開設